

平成26年度 最上地区青少年育成懇談会 平成26年12月6日 新庄市民プラザ

今年度で11回目となる最上管内の高校生と青少年育成関係者の懇談会が、12月6日（土）に開催されました。今年度のテーマを「最上をもっと元気に！～若者ができること、大人ができること～」とし、高校生35名、大人49名が互いの意見を交換しました。

会の中では、「SNSなどを使ってもっと最上をPRする」「最上の伝承野菜を地域づくりに活かしたい」「高校の枠を超えて交流できる機会や場があれば」「イベント等を企画する段階から高校生に入ってもらおう」などの意見が出されました。

懇談会後のアンケートでは、高校生からは、「大人と真剣に議論する機会は貴重なのでこれからも続けてほしい」という意見や「雪の中、これだけの人が集まった。最上のことを真剣に考えている人がたくさんいて心強く思った」といった前向きな声が多く聞かれました。一方、大人の方からは、「高校生（若者）の考え方を理解するいい機会」という声が

ある反面「この会をどう活かせばいいか、この先の展望がみえない」という意見も聞かれました。また、この時期は降雪の時期ということもあり、「雪の無い時期に開催できないか」という声が高校生・大人双方から多数ありました。

高校生と大人が直に意見を交換する本懇談会は大変貴重なものであり、特色ある活動でもあります。反省点として出さ



青少年育成懇談会の全体会

れたことを踏まえ、次年度はさらに充実した懇談会となるよう努力していきます。本会を開催するにあたり、参加いただきました各市町村の首長さんをはじめ関係者の皆様に心よりお礼申し上げます。

推進員の宝もの紹介

鮭川

宝ものを守る役割

鮭川村青少年育成推進員 佐藤 明美

私にとっての宝ものは、子ども達の笑顔。これは私だけでなく、世の中のすべての人を元気にしてくれる、幸せな気持ちにしてくれる最高の贈り物なのではないでしょうか。

今年度は仕事と重なり、参加できなかった最上地区青少年育成懇談会に、昨年度は助言者という大役をいただいて参加させていただきました。そこですてきな宝ものをいただきました。最初に、「自分が住んでいる所の自慢をしてください」と司会者に言われた高校生は、「特になにもないんだけど」と言いながらも、参加者一人一人の話を一生懸命聞いているうちに、「あれもある、これもそうなのかな」と自慢できることを思いついたようなのです。ふだんは、あまりにも身近すぎる自分が住んでいるところにあるものなので、取り立てて言うほどのものではないと思っていたようなのですが、よそから見れば、それは素晴らしい、自慢できるものなのだ気が付き、その高校生の緊張した顔もいつしかほっとした、そして屈託のない笑顔に変わっていったのです。自分が住んでいる場所の素晴らしいところを再発見して、そこから地域を見つめ直す高校生の笑顔に、安堵の気持ちを抱いたのは私だけではなく、そこに参加した大人達みんなだったのではないのでしょうか。

子ども達の素敵な笑顔は大人達の宝物、その宝物を守っていく大きな役割が、私を含めて大人の責任なのだと思に刻んで生きていかなければならない時代なのだと思います。



12月の青少年育成推進員研修会(金山)

戸沢

「繋がる軌跡」

戸沢村青少年育成推進員 早坂 信一

8月28日から3泊4日で開催された「大地連携ワークショップ」(大学と地域が連携して学生の社会人基礎力を身につけることを目的)の中で、学生ができたこと、地域ができたことに思いを巡らせてみた。地域としては、自治会など各種団体により、正に地域内総力を挙げて結束できたし、中でも我が村の光輝「幸(高)齢者」の力には改めて驚異を感じました。すばらしい力です。テーマは「再生」、炭窯等の再生はもとより、一番大切な「地域コミュニティの再生」が叶ったことが何よりの成果だと思います。大学生の皆さんには僅かな時間のプレゼンや地域紹介の中で、この村の課題を見つけ、発表するという過酷な条件のもと、全てのグループがうまくまとめてくれました。後になって、毎日、夜を徹して議論した「振り返り」の会議に、地域も参加するべきだったなと後悔しましたが、一人ひとりが発してくれた熱い思いを忘れません。

「相互扶助」どんなに貧しくともお互いがお互いを思いやり、助けあっていく、この先人の皆さんが考え出し実行した尊い知恵がこの村の誇りです。一人ひとりの思いやりを合わせ、皆の持っている本当の優しさをうまく出し合える地域になればな、また、そんな村であることに胸を張って誇りにしたいと思います。大学生の皆さんが残してくれたかけがえのない軌跡は、これからもきっちりと繋がっていきます。

「またいつか会いましょう。戸沢という名のもとに……。」

編集後記

本号の提言は、金山町青少年育成町民会議の柴田会長さん、また、今年度の青少年育成推進員研修会の講演講師は金山町の認定こども園めぐたまの井上施設長さんでした。お二人の提言、講演から、金山町の目指す人間像、そのた

めの子育てや青少年育成にあたっての一貫した方針に、多くの事を学ばせていただきました。最上の青少年も、金山杉のように、真直ぐに育って欲しいものです。玉稿をお寄せいただきました皆様、本当にありがとうございました。